

行政調査報告書「産業建設常任委員会」

令和4年3月23日～24日

■広島県広島市『広島市中工場の整備等について』



ごみ焼却施設の基幹改良工事により「新燃焼制御システム」を導入した。精密な自動化運転により燃焼設備は省力化され、安定燃焼を行っている。ごみ焼却施設は「汚い・臭い」とのイメージがあり、住民からは敬遠されがちだが、クリーンな環境を実現している。また、焼却施設の内部を市民に見せることでイメージを払拭している。本市も今後の施設整備に向けた検討の中で今回の事例を参考にしたい。

■横川商店街連合会『横川商店街連合会の取組について』

横川駅を中心に5つの商店街が集まり、連合会を構成し、年間を通してユニークなイベントで注目を集めている。アトリエの提供などのアーティストの支援や、女子サッカーチームの運営も行っている。

複数のキーパーソンがその人脈を生かして、若い人・地元以外の人・行政等を巻き込んで活動している成功事例と感じた。本市も歴史ある安城七夕まつりを未来に承継しつつ、新たな取組を推進すべきと考える。

